

事務事業評価表（一般事業）

1 事業名	産業振興企画事務	コード	11401
-------	----------	-----	-------

2 担当部課	部等 産業振興部	課等 工業振興課	作成者 日岐充利
--------	----------	----------	----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	魅力と活力にあふれる、にぎわいのあるまち		
		政策	基幹産業の振興	施策	工業の振興
		予算科目	産業振興企画事務費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	なし		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	基幹産業である工業（製造業）を軸として、商業、観光、農林業を含めた産業全般の振興を図るとともに、企業誘致に向けた取り組みを行った。			
目的	対象者	市民（企業）		
	意図	産業全般の振興により、市内経済の活性化を推進する。		

5 事業の実施内容		*29年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
<p>1 岡谷市の産業振興を考える懇談会の開催 岡谷市出身者等であって、首都圏、中京圏で活躍する企業経営者等と情報交換などを行い、産業全般の振興を図るとともに、企業誘致に向けた取り組みを行った。 中京圏：7月26日 参加者28名 首都圏：11月2日 参加者39名</p> <p>2 中小企業都市連絡協議会への参加 全国の中小企業が集積した7都市（岡谷市・川口市・大田区・墨田区・加賀市・東大阪市・尼崎市） 総会：5月18日～19日 第1回連絡会議：10月26日～27日 第2回連絡会議：2月8日～9日</p>				
前年度の課題への対応	岡谷市の産業振興を考える懇談会中京会場、首都圏会場において、テーマを決め、参加者と充実した情報交換ができた。また、積極的な企業訪問により、中京会場において、新規参加者からご意見をいただくことができた。			

6 指標の達成状況		*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区分	27年度	28年度	29年度	30年度（予算）	
① 活動指標（指標名）	懇談会への参加者数			単位	人
	実績値	70	64	67	
	*指標の説明	懇談会への参加者数（市側含む）			
② 成果指標（指標名）	懇談会への参加者数			単位	人
	目標値	67	70	64	67
	実績値	70	64	67	
	達成度	104.5%	91.4%	104.7%	
	*指標の説明	懇談会への参加者数			
*目標値の設定方法の説明	前年度実績数				

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
① 直接事業費	715,185	1,775,983	1,076,761	1,494,000
経常経費	82,182	88,095	120,601	0
臨時的経費	633,003	1,687,888	956,160	1,494,000
* 臨時的経費の説明	実施計画に基づく事業のため。(消耗品以外)			
区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
② 人件費	7,200,000	7,200,000	7,200,000	9,600,000
正規職員の人数(人)	0.90	0.90	0.90	1.20
③ 合計コスト(①+②)	7,915,185	8,975,983	8,276,761	11,094,000
前年度比		113.4%	92.2%	134.0%
財源	7,915,185	8,975,983	8,276,761	11,094,000
一般財源				
内訳				
特定財源				
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	104,031	113,876	109,263	
前年度比		109.5%	95.9%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
中小企業都市連絡協 議会負担金	件数	1	1	1	1
	金額	50,000	50,000	50,000	50,000
中小企業都市サミッ ト負担金	件数		1		1
	金額		274,000		274,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金 等合計金額及び割合	合計金額	50,000	324,000	50,000	324,000
	割合	6.99%	18.24%	4.64%	21.69%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

高い

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値	前年度比
	104.7%	1
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値	達成度
	104.7%	1

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) 次年度は、新工業活性化計画に反映させるため、岡谷市の産業振興を考える懇談会において、現況と展望等を踏まえたテーマを設定し、参加者から、幅広い情報をいただける懇談会とすることが課題である。	
	(上記の課題をふまえて30年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 産業界の新規参加者を増やし、時宜にかなったテーマを設定し、産業振興を推進する。	
改善方法		
改善開始時期	平成30年4月	

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による30年度の優先度 *H28年度施策評価表より転記すること	A
-----------	--------	---	---